

「福島」の名を持つ3つの町が結んだ友情

— 松浦市・木曾町・福島町生徒学習交流事業 —

交流の始まり

平成元年に、友好を語る「ふくしま会議」で合意して以来、「福島」の名を持つ、旧福島町・北海道松前郡福島町・長野県木曾郡木曾町(旧木曾福島町)の3町の生徒が、相互に訪問し合う「生徒学習交流事業」が始まりました。

◆北海道福島町

2人の横綱が生まれた「横綱の里」

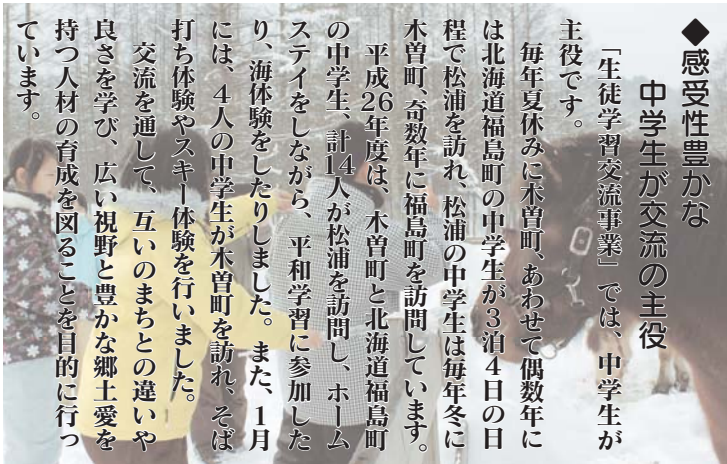
北海道福島町は、人口4,615人、面積187.255平方キロメートル、北は標高1,072メートルの大千軒岳、南は津軽海峡に面し、海岸は絶景が続く岩部海岸を有する自然豊かな町で、水産業(イカ、マグロ、アワビ、ウニ、コンブの養殖)、農業(横綱椎茸の栽培)、林業(道南スギの生産)が盛んです。

また、北海道初の横綱である「第41代横綱千代の山」と国民栄誉賞を受賞した「第58代横綱千代の富士」の生誕地で、町には記念館もあります。

◆木曾町

豊かな水と緑あふるる故郷

木曾町は、人口12,022人、面積476.06平方キロメートル。長野県の南西部に位置し、総面積の95.4%を山林が占める緑豊かな山間の町で、西に木曾御嶽山、東には中央アルプス木曾駒ヶ岳がそびえています。農業が盛んで、特産品としてすんき(塩を使わない漬物)、手打ちそば、清酒などがあります。



◆感受性豊かな

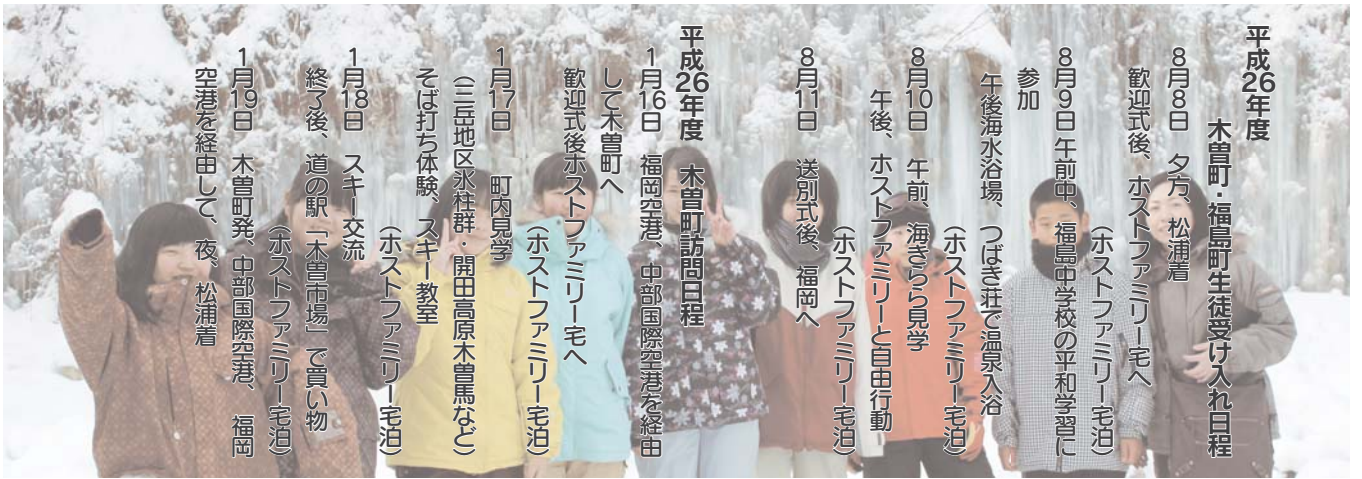
中学生が交流の主役

「生徒学習交流事業」では、中学生が主役です。

毎年夏休みに木曾町、あわせて偶数年には北海道福島町の中学生が3泊4日の日程で松浦を訪れ、松浦の中学生は毎年冬に木曾町、奇数年に福島町を訪問しています。

平成26年度は、木曾町と北海道福島町の中学生、計14人が松浦を訪問し、ホームステイをしながら、平和学習に参加したり、海体験をしたりしました。また、1月には、4人の中学生が木曾町を訪れ、そば打ち体験やスキー体験を行いました。

交流を通して、互いのまちとの違いや良さを学び、広い視野と豊かな郷土愛を持つ人材の育成を図ることを目的に行っています。



平成26年度

木曾町・福島町生徒受け入れ日程

8月8日 夕方、松浦着

歓迎式後、ホストファミリー宅へ

(ホストファミリー宅泊)

8月9日 午前中、福島中学校の平和学習に参加

午後海水浴場、つばき荘で温泉入浴

(ホストファミリー宅泊)

8月10日 午前、海きらら見学

午後、ホストファミリーと自由行動

(ホストファミリー宅泊)

8月11日 送別式後、福岡へ

平成26年度 木曾町訪問日程

1月16日 福岡空港、中部国際空港を経由して木曾町へ

歓迎式後ホストファミリー宅へ

(ホストファミリー宅泊)

1月17日 町内見学

(三岳地区氷柱群・開田高原木曾馬など)

そば打ち体験、スキー教室

(ホストファミリー宅泊)

1月18日 スキー交流

終了後、道の駅「木曾市場」で買い物

(ホストファミリー宅泊)

1月19日 木曾町発、中部国際空港、福岡空港を経由して、夜、松浦着

平成26年度参加者の感想

※学年は派遣当時のものです。

吉田 康陽 (福島中学校1年)

行って良かったことは、木曾馬を見られたこと、そば打ち体験ができたこと、そしてスキー交流です。僕がホームステイした近江谷さんのところでも、とても楽しく過ごせました。

金子志乃舞 (福島中学校1年)

最終日は、帰りたくない!と思いました。お別れ式が終わって、バスに乗る時、とてもさびしく思いました。木曾町での思い出は宝物です。

志水 樹 (福島中学校1年)

心に残ったことが3つあります。1つ目は、ホームステイ先の家族がとても優しくしてくれたこと。2つ目は大量の雪、そして3つ目はスキーです。いろいろな心に残った長野県は、とても思い出に残りました。

豊川みなみ (福島中学校1年)

2日目は、木曾町のいろいろな所を見ました。特に思い出に残っているのは、氷柱群です。つららがとてもたくさんありました。

広がる交流！
青島編

青島の子どもたちと大阪「青島会」の深い絆

青島では、独自に大阪「青島会」の皆さんと交流を深めています

平成26年の夏休みには、青島の子どもたち13人と保護者・引率者7人は、大阪「青島会」の皆さんから招待を受けて大阪研修旅行に出掛けました。

大阪「青島会」は、北川高史さん（奈良県）が郷土「青島」を愛する気持ちから関西在住の青島出身者に呼び掛け創設されました。

この交流は、ふるさとを思う大阪「青島会」が、ふるさとの宝である青島の子どもたちを大阪へ招待し、

大都市大阪の社会見学と同会との交流を通してふるさと青島の発展と子どもたちの成長を願い、また、島を守ってくれている住民への感謝の気持ちを込めて、平成25年から始められました。

この交流を通し、青島の子どもたちは自分たちの成長を温かく見守り、招待してくれた遠く離れた地で頑張っている青島出身者への感謝の気持ちが芽生え、郷土愛が育まれています。



国内交流の中心となっているのが、ホームステイによる子どもたちの受け入れです。
ホームステイによって、ただの観光旅行とは違う現地の人との交流、学びが生まれます。

ホームステイで深まる
友情と家族との絆

○問合せ先

生涯学習課社会教育係
☎内線340



今年も、8月6日から10日にかけて、鷹栖町の小学5・6年の児童6人が、8月8日から11日にかけて木曾町の中学生8人が松浦市を訪問します。5月中に市内小学校、中学校を通して要項を配布し、受け入れ家庭の募集を行います。
ぜひ、夏の受け入れに参加して、冬に鷹栖町、木曾町、そして北海道福島町を訪問し、特別な体験をしてください！